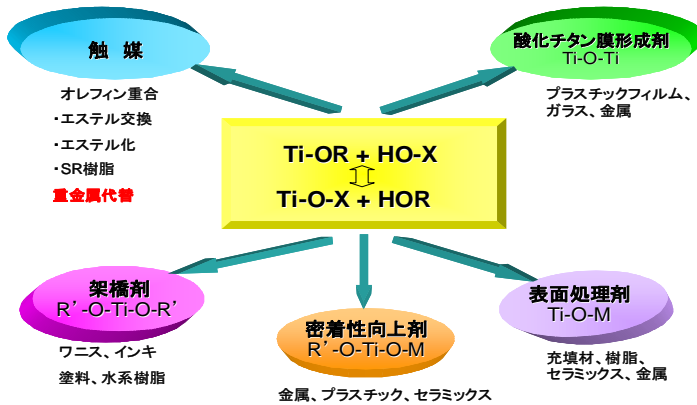


オルガチックスレポート

(旧称：マツモトメールマガジン)



オルガチックスの用途モデル

第6号「PVA架橋剤（その2）」

オルガチックスレポート（OR）は、マツモトファインケミカルの主力商品である”**オルガチックス**”を、様々な角度からご紹介するメルマガです。

前号に引き続き、「ポリビニルアルコール用架橋剤」をご紹介致します。今回は、オルガチックス水系シリーズによる製品毎の物性値や、新規開発品のご紹介を行います。前号の「PVA 架橋剤（その1）」と合わせてご参照下さい。

オルガチックスの架橋性能

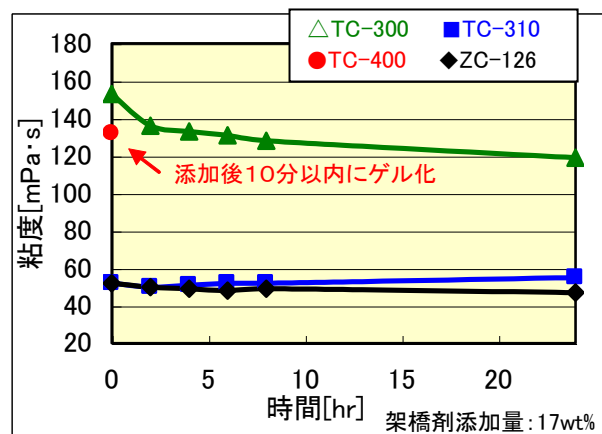
架橋剤	不溶化率[wt%]	試験条件
オルガチックスTC-300、TC-310	60~65	PVA：完全ケン化型 （重合度：1700） 架橋剤添加量：17wt% 乾燥温度：105℃ 不溶化率：架橋PVA膜を沸水に30分含浸させた後の重量残を%表示したもの
オルガチックスTC-400	76	
オルガチックスZC-126	10	
40wt%グリオキザール+4wt%HCl	0	
硼砂	0	
未添加	0	

他の架橋剤と比較し、オルガチックスはとても高い耐水性能を示します。

添加時の粘度安定性

オルガチックスをPVA水溶液へ添加すると、商品の種類によって、粘度が変化します。

コーティング等、経時増粘を避ける用途には、TC-310、ZC-126を推奨致します。また、TC-400をPVAに添加すると、10分以内にゲル物を得る事が出来ます。PVAの成形体を作る用途に最適な商品です。



オルガチックスのセレクトについて

オルガチックス水系シリーズは、計5種類のラインナップがございます。様々な用途に実績がありますが、新規のご検討の際には、汎用品で安価な**オルガチックス TC-310**を第一候補として推奨しております。

新規開発品のご紹介 温度感応型架橋剤

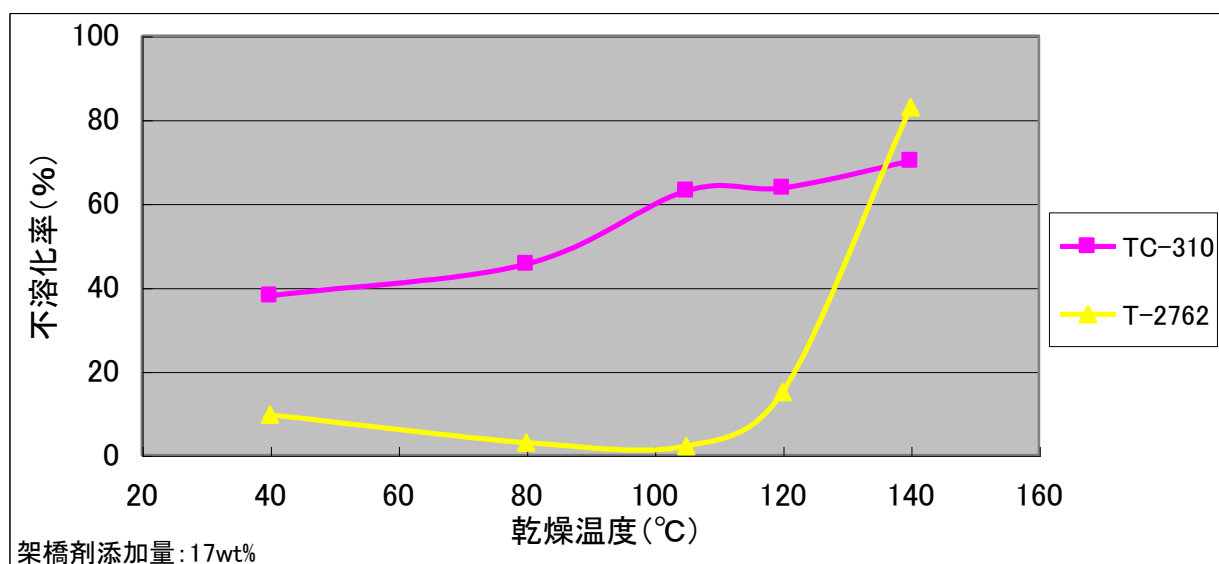
オルガチックス TC-310 は、性能のバランスが良く、色々な業界に実績がございます。しかし、用途が拡大するにつれ、お客様から架橋性やポットライフをコントロールし、より使い易くして欲しいとの要望を受けておりました。

そこで我々は、“ポットライフが長く”、“特定の温度領域で架橋反応が始まる”製品を開発致しましたので、以下にご紹介致します。

特長

- ①特定の温度で架橋反応が起こります（架橋開始温度：120～140℃）。
- ②架橋開始温度未満では、高い安定性を示します。

乾燥温度と不溶化率のグラフ



新規開発品物性表

開発品名称	T-2762
組成	有機チタン系化合物
外観	淡黄色液体
有効成分濃度	65wt%
溶媒含有量	IPA: 20wt% 水: 15wt%
金属含有量	3.8wt%
PH	1以下
引火点	33°C
添加後の 粘度安定性	◎

※ T-2762 は開発品です。評価用無償サンプル（100ml）を用意しております。
受注生産（1 バッチ 120kg）になりますので、ご使用前に弊社へお問い合わせ下さい。

次号発刊予定

次号のオルガチックスレポートは、「チタンオリゴマーの新しい世界（その1）」をお送りします。

※注意事項

本メールマガジンの著作権は、全てマツモトファインケミカル株式会社に属します。本文記事は、現時点で得られた資料やデータに基づく情報提供を目的としたものであり、いかなる記載内容も保証するものではありません。

↓↓商品のお問い合わせはこちらへ↓↓



マツモトファインケミカル株式会社

本社：千葉県市川市南八幡 5-13-2

Tel：047-393-6330／Fax：047-393-1063

大阪営業所：大阪市中央区今橋 4-3-18

Tel：06-7654-6862／Fax：06-7655-2087

<http://www.m-chem.co.jp/>